

事業活動温暖化対策計画に関する事項

新規 変更

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	熊本県菊池郡菊陽町津久礼2900番地				
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	富士フィルム九州株式会社 代表取締役社長 中泉 勝				
事業概要	プラスチック製品製造業				
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/>	熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用者)	前年度の原油換算エネルギー使用量	53,396.0	kl
	<input type="checkbox"/>	熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)	県内登録の自動車数		台
	<input type="checkbox"/>	特定事業者以外の事業者			
計画期間	2022年度～2024年度				
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針	生産設備におけるエネルギー使用の合理化(原単位の改善)を図る事で温室効果ガスの排出量削減を図っていく。				
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制	環境マネジメントシステム名称	ISO14001	適用範囲	全事業	取得年月日 H19.7.6
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックフィルム生産設備における乾燥ファン、冷却設備の効率運転、回収溶剤の加熱蒸気の削減等による使用エネルギーの削減 ・生産停止時の設備徹底停止による待機エネルギーの削減 ・本社技術組織と連携し、生産条件の見直しによる使用エネルギーの削減と生産性向上、カーボンニュートラルに向けた施策の検討と実施 				
温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(A)	前年度の実績	目標年度(B)	増減率
		(2013)年度	(2021)年度	(2024)年度	((B-A)/A)
	原単位温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(C)	前年度の実績	目標年度(D)	増減率
		0.482 原単位当たり t-CO ₂	0.358 原単位当たり t-CO ₂	0.376 原単位当たり t-CO ₂	((D-C)/C)
原単位の考え方		生産したフィルムの面積(単位:[km ²])あたりに排出される温室効果ガス量(単位:[t])をもって排出量原単位とする。			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・基準年度を環境省削減目標値の基準年度と同じ2013年に変更した ・過去報告において温室効果ガス排出量のダブルカウント(重複)が見つかった為、重複しない計算方法に修正した。 ・2024年度までは生産数量の増加により排出量は増加する見通し ・2030年度で排出量50%削減を長期目標として、温室効果ガス削減に努める 				

- 備考
- 1 のある欄には、該当する内に「レ印」を記入してください。
 - 2 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。
 - 3 「基準年度」とは、原則、計画期間の前年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。この場合、計画期間の前年度の実績を「前年度の実績」欄に記入してください。「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。
 - 4 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とします。
 - 5 原単位による目標を設定する場合は、「原単位温室効果ガス算定排出量」欄を記入してください。「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方等を記入してください。
 - 6 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。